

真行草

平成25年度
11月発行

第6号

毎年1回発行

編集・発行 浜松医科大学弓道部 OB・OG 係 hamai_kyudo_ob@yahoo.co.jp

浜松医科大学弓道部 ホームページアドレス

<http://kyudohamai.sakura.ne.jp/>

西医体男女アベック優勝!!



平成 25 年 8 月 14 日 西医体

弓道部と「うちの猫」

弓道部顧問 佐藤清昭先生

今年の夏、飼っていた猫の「平蔵宣以(へいぞうのぶため)」が死にました。子猫の時にもらってきたのが15年と3ヶ月前で、これは浜松医科大学に弓道場ができた時期(1998年春)とほぼ一致します。そして闘病生活の後、虹の橋を渡ったのが、医学科が仙台の全医体で優勝する1週間前でした(2013年8月)。そうすると、この猫は(私の報告を聞き)弓道場ができて以来の浜松医科大学弓道部の発展と活躍を肌で感じ、応援し、見守っていたということになります。

「猫」と言えば、古いOB・OGの皆さんは、私がドイツから連れてきた黒猫の「ゴンパチ」のことを思うかもしれません。この猫も、弓道同好会の発足(1988年4月)とその弓道部への昇格(1990年5月)を体験したあと、現弓道場地(当時は露天)の水はけ整備を私が学生諸君といっしょにやっていた日に瞑目しました(1993年7月)。

この猫たちは、2匹で私の人生の半分近くを一緒に過ごしたことになります。彼らはまさに「家族の一員」でしたから、亡くなった時はちょっと言葉で表すことのできない「悲しみ」でした。

しかし悲しがってばかりいても建設的ではありません。人生には苦しいこと、悲しいことが、大小とり混ぜて山ほどあるけれども、そういう時にただ落ち込んでいるだけでは少々もったいない。そこに「積極的な意味」を見いだすことはできないか？

これについては、仏教もキリスト教も同じような趣旨の教えを示しています。「人間は何のために生まれてきたのか？」という問いに対しては、「人を喜ばせるために、そして『人の悲しみ』を自分のことのように

思いやることのできる心を持つために」と答え、「襲ってきた苦しみは、人間として円熟し、『ほかの人の悲しみ』に寄り添ってあげられる人間になるチャンスと考えるように」と……。なるほど……。そうか……。 「器」の問題か……。

「平蔵」の遺骨はまだ家に置いてありますが、機会を見つけて、どこか思い出の地に埋めてやろうと思います。



佐藤先生 (西看大にて)

OB・OG 会副会長

鈴木洋行先生(平成6年卒)

こんにちは。私は平成6年卒ですので、もうすぐ卒業後20年経ちます。早いものです。卒業後は、県内の病院を二つ勤務した後に、気軽な気持ちで大学院へ。当初、その後は病院勤務に戻るものと自分でも思っていました。一大決心をしてアメリカ留学も経験させていただき、世間の広さ、というか、所変われば常識も変わる、ことを体験しました。やっぱり海外だもんね、日本の常識が通用する訳がない。と当たり前のことを実感した次第です。生まれも育ちも静岡県、親族一同もほぼすべてご近所在住ですので、根っからの静岡県人を自称する私としては基本的に田舎モンで世

間知らずでした。住環境、食生活、出会った人々のユニークな考え等々、静岡県人の想像をはるかに超える世界が広がっていて、こうやって世界は動いているのか、と変な満足感を感じたことを思い出します。

さて、その後時は流れて再度浜松での勤務の後に、何の縁か京都に移住し、現在では大阪市内で勤務医としております。浜松と大阪の距離はそれほど離れてはおりませんが、関西文化は実際の距離以上に静岡とは異なっており、またもや世界(世間)の広さを感じております。同じ日本でも多様性がある面白いなあ。最近関心を持っているのが、大阪の喫茶店文化です。喫茶店にご高齢の方々が多く集い、みんな楽しそうにしている場面を多く見かけます。これはとてもいい文化ですよ。それにしてもなぜ大阪ではペヤングやきそばを売ってないのでしょうか？

私は腎臓内科を専門にしているのですが、腎臓病診療の方針についても関西文化というか、特徴があるのかも、と感じています。腎生検の適応基準も関東とは微妙に違いますし、利尿薬の使い方も違っているようです。最初はたまたまのその病院の特徴かな、と思っていましたが、最近他の病院の先生方の意見を伺ってみると、やっぱり関西の考え方のようです。「関東の先生はこういう時には検査をせずに経過観察するそうですが、こちらでは検査を進めますよ」とのことです。念のために言っておきますが、関東と関西のどちらが間違っているわけでもないし、どちらが正しいということでもないです。均一な医療である必要はないのだし、だから進歩していくものなのかもしれません。

ある程度の年齢になると自分が固まって、少々のことでは動じなくなる、といいますが、自分ではまったくそんなこと感じておりません。むしろ、世の中には色んな考えがあって、そのどれも正しくてどれも正し

くない。日常生活しかり、医療の世界もしかり。そんなこんなで静岡県人の理解を超える世界に触れながら、世間をまだまだ勉強しております。四十にして惑わず、とは言いますが、実際の私は惑ってばかりで、未だ道理を会得できずしております。なんでもあり、の世界を受入れることでこの先なんとか立ち回っていただけらと考えております。

とりとめのないことを書いてしまいましたが、気の利いたことを知ったふうにも書くこともできないので、近況(心境)報告を書かせていただきご挨拶とさせていただきます。

前主将挨拶

第 25 代主将 中井省吾(医学科 4 年)

朝夕は寒気がひとしお身にしみるようになりましたが、OB・OGの皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。浜松医科大学弓道部に平素より多大なるご支援をいただき、大変感謝しております。

前回の会報誌をお送りしてから早くも一年が過ぎてしまいましたが、今期も多くの試合でタイトルを勝ち取ることができました。医歯薬における男子団体二連覇、女子団体準優勝にはじまり、中部ブロックでの男女団体アベック優勝、東国体男子団体二連覇、女子団体三位、そして西医体での初の男女団体アベック優勝、全医体での団体二連覇。桐戸主将の代に引き続き、華々しい結果を残せたことを誇りに思っております。

このように強い浜医が今あるのは、もちろん今弓を引いている部員たちがひたむきに弓に向き合い練習に打ち込んだ努力の結果でもあると思いますが、それ以上に、浜医弓道部が部として大きく成長してきたか

らだと考えております。浜医弓道部をより良い部にしよう、強い部にしようとして練習に打ち込み、部活のことを考えてきた各代の先輩方の意志が縦の流れとなり、それが私達に伝わった結果として今ここに浜医弓道部の強さ、雰囲気の良いさとなって表れているのだと思います。浜医の礎を築いてくださった OB・OG の先輩方なくしては、ここまで活躍することはできなかつたでしょう。今更ながら、私が桐戸主将から引き継いだものは弓道部の主将という役職だけではなく、長く重みもった縦の流れであったのだと実感しております。また卒業した後にも関わらず、OB・OG の皆様からは様々な場面で温かいお心遣いを頂いており、心から御礼申し上げます。

私は強さを維持できる部を作るには、部の雰囲気を大切にしないといけないと考えております。この一年間主将を務めさせて頂きましたが、その間、「いかに部の雰囲気を良くし、高いモチベーションを維持し、大会にもっていか」を考えておりました。部員一人一人を大切にすることはそれ自体目的ではありますが、強さを維持するために必要不可欠なことだと思います。近年の強豪校としての成長や部員数の増加などによる浜医弓道部を取り巻く環境の変化において、より一層これらのことが大事になっていくのではないかと考えています。上手くいかないことも多く、主将として至らない点ばかりの一年でしたが、こうした私達前幹部学年の考え、結論が私達の代の色として先輩方から受け継いできた縦の流れに付け加えられていったことでしょう。そういった点でこれからの弓道部の変遷は私自身も責任を持つべきことであり、今後とも引退生として後輩たちに先輩から受け継いできたものをしっかりと引き渡していかなくてはならないと考えております。

さて、これからは新主将である武田昌大がこの浜医弓道部を引っ張っていくこととなります。彼自身の弓に対する真摯さは申し分のないものであり、他の弓道部員からの信頼も厚いです。また、彼とともに部活の運営に主に関わっていく医学科 3 年、看護科 2 年の部員たちも物事をしっかりと捉え考えていくことができ、彼ら自身の良い色を出しつつも、先輩方から受け継いだ縦の流れを活かし、浜医弓道部をより発展させてくれることでしょう。武田昌大のもと部員一同ますます精進して参りますので、今後とも OB・OG の皆様のご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

以上、略儀ながら前主将挨拶とさせていただきます。末筆になりましたが、皆様方のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

前看護科主務

藤井里奈(看護科 3 年)

日増しに寒さが加わってまいりましたが、OB・OG の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別にご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

今年も浜松医科大学弓道部は多くの大会で活躍して参りました。毎年良い成績を収めていると、次第に部員は「勝たなくてはならない」というプレッシャーを感じ始めます。それにも負けず毎回結果を出すことができるのは、勿論選手の実力もありますが、やはり周囲のサポートが大きいのではないかと思います。

私はこのサポートや雰囲気の良いさが弓道部の特徴だと思い、一年間雰囲気の良い部活とは何かを考えて活動して参りました。部活は皆が仲良く楽しむということも重要ではありますが、何よりも部員一人一人が、

今自分が何をすべきかを考え自主的に行動すること、また部員同士が支え合い、より高みを目指そうとする姿勢が求められると思います。幹部交代から一ヶ月が経過しましたが、幹部や幹部学年が部活について様々なことを考え、部活の様子も既に変わりつつあります。

来年は西看大の主管を務めるということもあり、より多くのものが求められます。私も引退生としてできることを考え、部活に貢献していく所存です。新主将の武田昌大のもと、部員一同益々精進して参りますので、今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

末筆ながら皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます、前看護科主務挨拶とさせていただきます。

新主将挨拶

第 26 代主将 武田昌大(医学科 3 年)

虫の声が秋を思わせるこの頃、OB・OGの皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。日頃より格別なるご高配を賜り感謝申し上げます。



医大祭の様子

10月から1年間、主将を務めさせていただくこととなりました、医学科3年生の武田昌大と申します。OB・OGの皆様が築かれた、伝統と格式ある弓道部の主将を務めさせていただくことは非常にありがたく存じると同時に誇りを感じ、大きな責任に身が引き締まる思いです。

現在の弓道部ですが、非常に喜ばしいことに今年度の新入部員は15人であり、現役部員だけで45人、全体で75人という大所帯になりました。たくさんの1年生が入部したことで、皆様からは例年にも増して多くのご援助を頂き、弓具を揃え快適に練習ができるようになりました。この場を借りて、ご協力いただいた皆様に心から御礼申し上げます。

さて、先代の主将の方々を見て考えた、主将としての私の役目ですが、部員一人一人の意思を汲み取り、楽しく充実した活動を実現できる環境を整えていくとともに、これまでの部活の伝統を引き継いでいくことだと考えています。もちろん、弓道や部活に対する思い・姿勢が異なる人たちが一堂に会するわけですから、真の意味で一人一人が満足いく環境を作るのは難しく思います。しかし、試合で好成績をあげる強い部活や、外から見ても立派に見える部活には、やはり強い結束があると思います。武道として弓道を見てみますと、「武」としての射技、「道」としての礼儀があります。各部員がこのことを強く意識し、部員一同精進して参りたいと考えています。加えて、浜松医大は来年度に西看大の主管を任されており、浜医の名に恥じないような大会の運営を行うためにも、よりいっそう部員が一丸となり努力していく必要性を実感しております。

また、今の部活の雰囲気を作り上げていくのは主に在校生ではありますが、その中でもOB・OGの皆様

が在校時代に築き、脈々と受け継がれてきたものがたくさん活きていると肌身に感じます。さらに、皆様にはご卒業後も多大なるご厚志をいただいております。感謝の気持ちでいっぱいです。そこで、今期からは試合の結果速報や、ホームページをよりいっそう充実させ、弓道部の今の姿をお伝えしていきたいと考えています。そしてなにより、皆様により多く勝利の一報をお伝えすることが出来ればいいな、と思っております。

至らぬ点も多く、ご迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますが、今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。最後になりましたが、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、略儀ながら新主将のご挨拶と致します。

新看護科主務挨拶

鈴木未菜(看護科2年)

秋冷の候、OB・OGの皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。10月より看護科主務を務めさせて頂くことになりました、鈴木未菜と申します。平素は格別のご支援を頂き、この場をお借りして心より御礼申し上げます。

今年は看護科より6名が入部しました。内1名は、数年振りの入部となる看護科男子です。皆、初心者ながらも日々稽古に励んでくれています。

今年の西看大では日程の都合により、2・3年生が個人戦のみの出場という異例の事態となりましたが、1年生にとっては団体戦というものを経験する良い機会になったのではないかと思います。来年度は西看大での勝利だけでなく、西看大の主管をする立場として、看護科一同、医学科と協力し、西看大の成功を目指して精一杯業務を全うさせて頂く所存です。

先輩方が築き上げて下さった弓道部の伝統を受け継ぎ、看護科主務の名に恥じる事のないよう、高校での経験も活かし、より一層の精進をして参りたいと思います。何かと至らぬ点も多く、御迷惑をお掛けするかもしれませんが、今後とも御指導、御鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

末筆ながら、皆様の御健康と御多幸をお祈り申し上げます、看護科主務挨拶とさせていただきます。

平成25年卒業のOB・OGの方々から

ご寄稿を頂きました！

静岡県立総合病院

山本琢己先生(平成25年卒)

卒後1年目の山本琢己です。東国体、西医体、全医体の2連覇おめでとうございます。すごい時代になりました。今年も新入生が大勢入部したそうで、ただでさえ狭かった道場が、ますます狭くなったと聞いております。これからもこの強さを保ち続けてくれると期待しております。

さて、私はこの4月から静岡県立総合病院で研修医として働き始めました。10月現在、救命救急科をローテーションしております。日々勉強することがたくさんありてんてこ舞いですが楽しく働いております。弓道部のOB・OGの方々もおられ大変お世話になっております。学生の皆さん、医学科も看護科も就職はぜひ県総で！

学生時代はOB・OGの方々の援助に非常に助けられました。この場を借りてお礼申し上げます。今後は自らがOB・OGの立場として弓道部の益々の発展を願い、精一杯の支援をしていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

一宮市立市民病院

蔭山静先生(平成 25 年卒)

浜松医科大学弓道部 OB・OG の皆様、在学中の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。2013 年に卒業し、愛知県の一宮市立市民病院にて研修しております蔭山静と申します。

卒業してからはなかなか試合の応援に行けず、その分後輩の皆さんからの報告メールを毎回心待ちにしている、そんな日々を過ごしております。今年度も西医体アベック優勝・全医体優勝、その他数多くの素晴らしい成績を残されました。みんなの歓喜する顔が浮かび、私まで胸が熱くなりました。試合で活躍した団体メンバーの方は勿論、彼らの活躍を支えた部員皆さんの団結力の賜物と思います。在学中も他大学の友人に「浜医は控えで待っている時、射場へ向かう時、みんな声かけに行って、ハイタッチしていくよね！あれが本当に羨ましい！」と言われ、これが浜医の練習以外の強さの秘訣だ、と誇りに思った覚えがあります。団結力を残しつつ、これからもお互いに切磋琢磨し続けていって頂きたいなと思います。

気軽に立ち寄れる距離ではないですが、これからも皆さんとの交流の機会があれば幸いです。どうぞ宜しくお願い致します。



山本琢己先生(合宿にて)

浜松医科大学医学部附属病院

片山舞子先輩(平成 25 年卒)

清秋の候、OB・OG の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。昨年度大学を卒業し、今年度より社会に出て働き始め、約半年が経ちました。徐々に仕事に慣れることができてきましたが、勉強・経験不足を痛感する毎日です。今後も勉強に励み、日々の業務で多くのことを経験しながら、少しでもよい看護を行うことができるよう努めていきたいと思っております。

また、今年度の弓道部では、西医体・全医体ともに素晴らしい成績を残すことができおり、とてもうれしく思います。部員数も多く、練習や遠征など大変なことも多々あると思いますが、今後も部活を盛り上げていってほしいと思っております。

末筆ながら、OB・OG の皆様のご健康とご多幸、今後の弓道部の更なる発展をお祈り申し上げます。

今年度も OB・OG の方々からご寄稿を賜りました。お忙しい中、ご協力誠にありがとうございました。今年度に引き続き、来年度の会報誌にもぜひ、ご寄稿の協力をお願い申し上げます。

PDF ファイルについて

本年度もカラーページが多いため、より良いものを見ていただけるようにホームページからダウンロードをできるように致しました。

ぜひ、ご覧ください。

<http://kyudohamai.sakura.ne.jp/>から

[アイテム]→[会報誌]にてご覧になれます。

近況報告

<一年間の弓道部の様子と、部員からの近況報告を掲載します。>

10月 秋のイソップ・竹山杯



5年生になり病院実習をしていると、OB・OGの皆様に非常に良くして頂き、諸先輩方の偉大さを知るとともに、弓道部の繋がりや強さをとても感じます。そういった良い関係を途絶えさせず、自分達も次の世代に繋げていきたいものです。

とりあえず、部員のみんなとこれからも仲良く楽しく弓を引いていきたいいな、と。

飯田雅博(医学科5年)

11月 医大祭



弓道部に入って、約1年半がたち、1年生のときには気が付かなかった先輩方の苦勞や努力を知りました。そうした中で、先輩としてだけではなく、人間として尊敬できるような人の存在にも気が付くことができました。12看護科は、今月から幹部学年になります。まだまだ自覚が足りず、甘いと言われる事も多くあると思いますが、私も後輩に胸を張れる先輩になれるよう、稽古に取り組んでいきたいです。

和田泉(看護科2年)

OB・OGの皆様、日頃より多大なご支援賜り、本当にありがとうございます。この1年は、幹部学年の一員としてそれまで以上に部活にかかわり、改めて弓道部に入部して良かったと感じました。これからも弓を通して、先輩や後輩、同学と共に充実した学生生活を送っていきたくと思っています。

佐々木うらら(医学科4年)



11月 しゃちほこ杯



11月 東海医歯薬

12月 冬のうなぎ杯



12月 グラスカップ

4月に1年生が15人も入部し、浜医弓道部は更なる大所帯となりました。日頃の練習は勿論、バーベキューなどの行事も通じて、楽しく活動しています。

僕も先輩となり、今までとは異なった緊張感を持ち、弓を引いています。

今期の部活が更に盛り上がるよう、活動していきたいと思っています。

佐藤大輝(医学科2年)

今年も多くの1年生が入部してくれて弓道部は一層にぎやかになりましたが、やはりこれも弓道部の雰囲気の良いお陰かと思えます。僕は、部員みんなの仲が良く、部活・遊びに対して真剣に取り組む弓道部に入って、よかったと思えます。後輩たちにも弓道部のことを好きになってもらえるよう、また、雰囲気の良い部活であり続けられるよう、頑張ります。

窪田雄介(医学科2年)

日頃はOB・OGの皆様にご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

引退して早一年、生き生きと弓道に向き合う後輩たちの姿に元気をもらう日々です。先輩方から学ばせて頂いたことに加え、いつの間にか頼もしくなった後輩たちに学ばされることも多く、弓道部は今の私にとって、とても大切な場所です。

加藤佑季(医学科5年)

1月 三十三間堂



3月 春季県下



3月 メモリーカップ

3月 追い出しコンパ

3月 卒業式



4月 新歓コンパ



弓道部に入部して半年になりました。大学に入った当初は、部活自体に入るつもりもなかったのですが、今では大きな心の拠り所となっています。大学では、中学や高校のようにクラスが存在しないので、自分の居場所を見つけるのは大変だと思います。この部活に居場所を頂くことができ私は本当にラッキーだったと思います。

生熊かおり(看護科1年)



4月 新勧遠足

3月には医学科2人、看護科2人の先輩方がご卒業されました。4月には医学科9人、看護科6人の新入生を迎えました。最近では医学科、看護科ともに女子の入部が多く、遂に部員の半数を超えました。

6月 東国体



弓道部に入って早半年が経ちました。入部当初から思っていたのですが、浜医の弓道部のよいところはOB・OGの先輩の方々も含めて部員全員の仲が良いことだと思います。夕方に道場に行くと必ず先輩方がいらして、指導したり話したりして下さることはとても貴重なことだと思います。

これからも先輩方のご指導をいただいて日々精進していきたいと思えます。

西恵佳(医学科1年)

今年は好成績を納め、西医体男女優勝、全医体二連覇することができました。団体戦は支え合いだと思います。時に調子が悪く成績が伸びなくても、記録の面でも精神の面でも支え合うことで、勝利をつかめるのだと思います。これからも試合に限らず支え合い、部員皆が楽しめる浜医弓道部を受け継いでいきたいです。

山田裕(医学科4年)

今年もたくさん新生が入部してくれて、ますます部活が賑やかになりました。看護科の新生が多く入ってくれたことも、とても嬉しく思います。そして、私はついに引退となってしまいました。1年間幹部学年をやり遂げることができたのも、OB・OGの方々の応援と部員の協力があったからだと思います。温かいご支援ありがとうございました。

岡崎綾女(看護科3年)

6月 中部ブロック



6月 山梨大学交流戦



7月 夏季県下

6月 夏のうなぎ杯



7月 バーベキュー

OB・OGの皆様、日頃より多大なご支援賜り、本当にありがとうございます。どの試合も思い出深いですが、特に大分での最後の西医体は忘れられない試合となりました。今までお世話になった先輩や同学、そして後輩たちに感謝しながら、卒業まで残り少ない部活動を思いきり楽しみたいと思えます。

江上貴俊(医学科6年)

8月 西医体



今年度の西医体は別府市で行われ、男女団体アベック優勝を達成しました。男子団体は2年連続グランドスラム、女子団体は初の優勝を飾ることができました。

また、西看大は名古屋市、全医体は仙台市で行われ、全医体では団体戦2年連続優勝、また個人戦でも優勝を飾ることができました！

8月 全医体



2011年に入学した私達も3名の看護科が幹部学年を無事終え10月から14名の医学科が幹部学年となりました。多くの部員を抱え、主将の武田の下、1年間部活の運営を中心的に行うにあたり、多くの先輩方が引継いできたバトンを受け取った気持ちで少し緊張しています。また1年間OB・OGの皆様に良い報告が出来る様に頑張っていきます。

長田祥子(医学科3年)

8月 西看大



早いもので入部から2年半が経ち、部活を引っ張っていく幹部学年となりました。試合成績・日頃の練習・係の仕事・先輩後輩との遊びなど、部活を引っ張るかたちは色々だと思います。未熟なことだらけの私には荷が重いですが、このすべてを一年間自らに求め、「強くて雰囲気の良い部活にしたい」という思いを共に持つ同学達と力を合わせていきたいです。表に立って頑張っている幹部だけでなく、私達も陰ながら部活を盛り上げていければと思います。

菊池優志(医学科3年)

浜医の弓道部に入って半年が経ちました。僕は中高時代にも弓道をやっていたのですが、大学の弓道は全然違ってびっくりしました。高校の時には色々あり、一度は挫折してしまった弓道ですが、この大学ならもう一度頑張れると思います。精一杯やりたいと思います。

杉浦琢也(医学科1年)

10月 幹部交代コンパ



試合結果

(2012年11月～2013年10月)

11月 東海医歯薬学生弓道大会

【団体戦】

男子団体 **優勝**

女子団体 A 準優勝

【男子個人戦】

佐藤大輝(医学科1年) **優勝**

村井雄紀(医学科2年) 準優勝

高橋巧(医学科1年) 第3位

夏目貴史(医学科4年) 第5位

【女子個人戦】

望月琴美(医学科2年) **優勝**

千森瑛子(医学科2年) 第5位

河上明日香(医学科2年) 第6位

【男子優秀射技賞】

中井省吾(医学科3年)

【女子優秀射技賞】

望月琴美(医学科2年)



佐藤大輝 四段合格(当時1年)

3月 静岡県下学生弓道大会春季大会

【団体戦】

男子団体 E **優勝**

男子団体 G 準優勝

男子団体 B 第3位

女子団体 D 準優勝

女子団体 E 第3位

【男子個人戦】

藤田王樹(医学科1年) **優勝**

齊藤慈円(医学科4年) 準優勝

野島悠有(医学科2年) 第3位

夏目貴史(医学科4年) 第4位

【女子個人戦】

望月琴美(医学科2年) 第4位

齋藤有沙(医学科2年) 第5位

6月 東海地区国立大学体育大会

【団体戦】

男子団体 **優勝**

女子団体 第3位

【男子個人戦】

山田裕(医学科4年) **優勝**

6月 中部ブロック医科学生弓道大会

【団体戦】

男子団体 **優勝**

女子団体 A **優勝**

【男子個人戦】

中井省吾(医学科 4 年) 準優勝

村井雄紀(医学科 3 年) 第 3 位

飯田雅博(医学科 5 年) 第 4 位

【女子個人戦】

佐々木うらら(医学科 4 年) **優勝**

【男子最優秀射技賞】

飯田雅博(医学科 5 年)

7月 静岡県下学生弓道大会夏季大会

【団体戦】

男子団体 A **優勝**

【男子個人戦】

中井省吾(医学科 4 年) 準優勝

村井雄紀(医学科 3 年) 第 4 位

【女子個人戦】

和田泉(看護科 2 年) 第 4 位

8月 西日本医科学生体育大会弓道部門

【団体戦】

男子団体(120 射 77 中) **優勝**

女子団体(60 射 37 中) **優勝**

【女子個人戦】

久保田紗英(医学科 2 年) 第 4 位

【女子最優秀射技賞】

望月琴美(医学科 3 年)

8月 全日本医科学生体育大会王座決定戦弓道競技

【団体戦】

団体(120 射 87 中) **優勝**

【個人戦】

乾航(医学科 5 年) **優勝**

木根佑奈(医学科 2 年) 第 3 位

武田昌大(医学科 3 年) 第 7 位

【最多的中賞】

中井省吾(医学科 4 年) 20 射 18 中

8月 西日本看護学生弓道選手権大会

【団体戦】

団体 A(60 射 20 中)

団体 B(60 射 9 中)

団体 C(60 射 8 中)

※学年はすべて当時のものを記載しております。



全医体(仙台)にて

昇段審査結果

(2012年11月～2013年10月)

11月 中部地区審査(静岡市弓道場)

弐段 和田泉(看護科1年)

2月 中部地区審査(静岡市北部体育館)

参段 鈴木未菜(看護科1年)

3月 西部地区審査(佐久間瞑想館)

弐段 木根佑奈(医学科1年)

藤田王樹(医学科1年)

松村健太(医学科1年)

森田裕子(医学科1年)

千森瑛子(医学科2年)

参段 野島悠有(医学科2年)

加藤佑季(医学科4年)

四段 佐藤大輝(医学科1年)

山田裕(医学科3年)

5月 中部地区審査(静岡市北部体育館)

弐段 窪田雄介(医学科2年)

濱本希(医学科3年)

参段 高橋巧(医学科2年)

9月 東海連合審査(浜松市弓道場)

五段 齊藤慈円(医学科5年)

10月 西部地区審査(浜松市弓道場)

初段 秋場千布(看護科1年)

生熊かおり(看護科1年)

岩瀬千郷(医学科1年)

岩堀真紀(医学科1年)

海老岡里穂(看護科1年)

小野田有希(医学科1年)

川島大喜(医学科1年)

杓掛優可(看護科1年)

鈴木亜佑美(看護科1年)

西恵佳(医学科1年)

西村周真(看護科1年)

馬場皓大(医学科1年)

森下昌史(医学科1年)

弐段 杉浦琢也(医学科1年)

吉竹唯乃(看護科1年)

久保田紗英(医学科2年)

藤田英彦(医学科2年)

長田祥子(医学科3年)

武田昌大(医学科3年)

参段 本間侑(医学科1年)

藤田王樹(医学科2年)

森田裕子(医学科2年)

千森瑛子(医学科3年)

五段	四段	参段	弐段	初段
1	5	18	23	28

有段者の内訳(名)

※学年はすべて当時のものを記載しております。

※2013年10月までに現在の1年生が全員初段以上を取得しました！

最近の弓道部事情

部員数

学年	学科	小計	合計
6年生	医学科	3(0)	3(0)
	看護科	-	
5年生	医学科	10(3)	10(3)
	看護科	-	
4年生	医学科	10(4)	12(6)
	看護科	2(2)	
3年生	医学科	16(8)	19(11)
	看護科	3(3)	
2年生	医学科	13(6)	15(8)
	看護科	2(2)	
1年生	医学科	9(4)	16(10)
	看護科	7(6)	
男子数(女子数)となっています			75(38)

交流戦

- ・春のイソップ、竹山杯
静岡理工科大学弓道部
 - ・山梨大戦
山梨大学医学部弓道部
 - ・三校戦
愛知医科大学弓術部、藤田保健衛生大学弓道部
 - ・しゃちほこ杯
名古屋大学医学部弓道部、三重大学医学部弓道部
- ※これからも親睦を深め、互いに高めあっていく関係を
保ち続けたいです。

係紹介

現在、浜医弓道部には以下の15の係が存在します。

主将、副将、看護科主務、会計、主務、OB・OG係、
体配係、道場内整備係、道場外整備係、メディア係、
部内試合・交流戦係、部誌・OBOG会報誌係、
県下学生会議係、新勧係、西看大主管係

部活の運営はもちろん、弓具や備品、安土などをしっ
かりと管理し、道場の内外にわたって、活動しやすい状
態をつくっています。

また、浜医弓道部の良さを外にアピールするため、メ
ディア係としてホームページを作成し、写真や動画のア
ップなどを行っています。他大学との親睦を深めるとと
もに、浜医弓道部が勝つだけでなく、雰囲気の良い部活
としてあり続けるために部員一人一人が気を配り活動し
ています。

今年、西看大の主管を浜医が任されました。そのため、
主管係を設け、しっかりとした運営をしていきます。



部員によるイラスト

佐藤先生退官記念式典について

浜松医科大学弓道部顧問、佐藤清昭先生の退官記念式典を平成 26 年 3 月 1 日(土)に開催することとなりました。式典に際して、第 2 回 OB・OG 総会をとり行います。総会はホテル、クラウンパレスにて食事会とさせていただきます。また、記念射会についても只今検討中です。後日詳しく連絡致します。

誠に申し訳ありませんが、まだ招待状の作成中であり、会報誌に同封することができませんでした。もうしばらくお待ちくださるようお願い申し上げます。

多くの方のご参加を心よりお待ちしております。

会費・決算報告について

OB・OG の皆様に OB・OG 会費納入のご協力をお願い申し上げます。詳細は、報告書を同封いたしましたので、そちらをご参照ください。

前年度の決算報告も別紙に記載させていただきました。昨年度も多くのご援助、誠にありがとうございました。

OB・OG メーリングリスト

OB・OG 係では、試合結果やコンパのご案内をメーリングリストにて配信しております。メーリングリストの登録をされていない方は、中村尚紀までご連絡ください。登録案内のメールを送信させていただきます。

中村尚紀 : naonao-7070-u6g-615@docomo.ne.jp

編集後記

冷気とみに深まり、暮れ行く秋を感じる今日この頃ですが、皆様におかれましてはお変わりなくお過ごしのことと存じます。今年度の会報誌を作成するにあたり、試合結果の欄に多くの『優勝』という文字を連ねることができ、幸せを感じています。また個人戦での活躍も目覚ましく、多くの部員が入賞をしていたことを改めて確認することとなりました。昇段審査についても今まで以上に皆が関心を持ち、射技の向上に努めています。

OB・OG の皆様には総会でお会いできることを楽しみにお待ちしております。本年度も引き続きご支援ご厚情を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

OB・OG 係

中村尚紀 千森瑛子 村井雄紀

久保田紗英 宮崎悠夏